

すぐやろう災害対策



今日の備えが、家族を守る

今後30年間に70%程度以上の確率で
発生すると言われている
南海トラフ沿いでの大地震

あなたは、
その準備ができていますか？



目次

1. 大江地域で想定される地震被害
2. 大きな地震が起こったら
3. 大江地域の防災マップ
4. 地域災害対策本部の設置と活動
5. 町会エリア災害対策本部の設置と活動
6. わたしの町の自主防災組織
7. 避難行動要支援者の支援
8. 「大江小学校」災害時避難所の概要
9. 「大江小学校」災害時避難所の運営と組織
10. 「大江小学校」災害時避難所の平面図
11. 「大江小学校」災害時避難所の配置図(案)
12. 「大江小学校」災害時避難所の備蓄物資
13. 「大阪夕陽丘学園」災害時避難所の概要と
運営と組織
14. 「大阪夕陽丘学園」災害時避難所の平面図
15. 「大阪夕陽丘学園」災害時避難所の備蓄物資
16. 災害時避難所のルール
17. 福祉避難所と女性避難所
18. 災害時の連絡先
19. その他資料

1. 大江地域で想定される地震被害

大江小学校区に想定される地震被害

地震の名称		上町断層帯地震	東南海地震	南海トラフ巨大地震 ※区全体の数値
地震の規模 (マグニチュード)		7.5～7.8	9.0～9.1	9.0～9.1
最大震度		6弱～7	6弱	6弱
物的被害	全壊棟数	527棟	4棟	※52棟(揺れによる倒壊数) ※449棟(液状化による倒壊数)
	半壊棟数	213棟	9棟	※714棟(揺れによる倒壊数) ※891棟(液状化による倒壊数)
人的被害	死者数 (最大)	76人	—	※3人
	負傷者数 (最大)	128人	12人	※144人
	避難者数 (最大)	1,090人	19人	※11,418人
ライフライン 被害	停電率	100%	0%	※0.2%
		区全体の数値	区全体の数値	区全体の数値
	電話回線 被災率	13.5%	0%	※7.7%
		区全体の数値	区全体の数値	区全体の数値
	水道断水率	83.5%	10.5%	※100%
		市全体の数値	市全体の数値	区全体の数値
ガス供給 停止率	80.5%	0%	※82.2%	
	市全体の数値	市全体の数値	区全体の数値	

出典:大阪府自然災害総合防災対策委員会(平成17年、18年公表資料)

出典:大阪府防災会議南海トラフ巨大地震災害対策検討部会(平成25年度公表資料)

内陸活断層による地震

陸地の地下(ユーラシアプレートの内部)で活断層がずれて起こる地震。
兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)がその代表例です。



特徴

- 揺れている時間が短い(10秒から数十秒)
- 震源が浅いため、断層の近くでは揺れが激しい
- 千年から1万年程度の間隔で発生する

地震例

濃尾地震、三河地震、兵庫県南部地震、新潟県中越地震、新潟県中越沖地震など

海溝(プレート境界)型の地震

海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込み続けているために、ひずみが限界に達すると大陸プレートが跳ね上がって起こる地震。東日本大震災がその代表例です。



特徴

- 揺れている時間が長い(1分以上)
- 津波が襲ってくる可能性が高い
- 90年から150年程度の間隔で発生する

地震例

東海地震、東南海地震、南海地震、東日本大震災、北海道南西沖地震、スマトラ沖地震など

2. 大きな地震が起こったら

地震発生

揺れがおさまったら

5~10分

10分
~数時間

少し落ち着いたら

数時間
~数日間

いのちを守る

自分の命を守る

自分の身を守る行動例、事前の備えなどについては、「**天王寺区防災ハンドブック**」で確認してください。



自分や家族を守る

- 自宅等の被害を確認する
(室内でも靴やスリッパを履く)
- 火の始末をする。ガスの元栓を閉める
- 玄関ドアなど外出ルート・出口を確保する
- 家族の安否を確認する
- 電気のブレーカーをおとす
- テレビやラジオ等で正確な情報(災害状況等)を入手する
- 「非常持ち出し品」を身近におく

隣近所で助け合う 7分

- 隣家に声を掛け、安否を確認しあう
- 火が出ていたら大声で知らせ、協力して消火・救出活動を行う
- 地域の災害情報・被害情報を収集する

町会エリア災の 8分 集合場所へ

協力して生活する 12分~20分

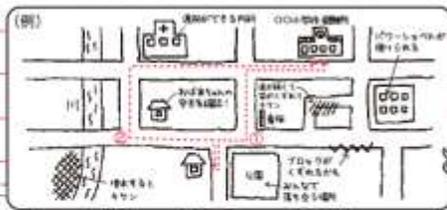
- 家屋が倒壊・焼失した場合など、自宅で生活することができない場合は、
①電気、ガスを確認、②非常持ち出し品を携帯、③戸締りの後、徒歩で「**災害時避難所**」へ行く
- 災害時避難所では、集団生活のルールを守り、助け合いの心で、生活する

3. 大江地域の防災マップ

大江 防災

わが家の防災マップをつくらう!

書き込みできます



- 記載しておきたいこと
- 家族の集合場所
 - 避難所
 - 避難経路
 - 地震や台風のと き危険になりそうな場所

大江地域防災計画(概要版)

津波
南海トラフ地震発生後、国の想定では、最も早くても1時間50分で津波の第1波が大阪市に到着するとされています。



- 一時避難場所 [一時的に避難できる広場]
- 災害時避難所 [宿泊、給食等の生活機能を提供できる施設]
- m 標高

4. 地域災害対策本部の設置と活動

■ 設置場所

大江会館	天王寺区六万休町5番25号
------	---------------

■ 活動

- 地域災害対策本部の役割にあたっている方(連合役員や災害救助青年部等)避難準備をしたのち、大江会館に参集し、施設の安全確認を行った上で、地域災害対策本部を設置します。
- 地域災害対策本部長は、参集した組織員の出欠を確認し、本部運営上の課題を把握するとともに、対応にあたります。
- 発災時の初期活動(安否確認、安否集計、救助、消火、避難誘導)を指示し、対応状況を把握します。
- 町会エリア災害対策本部から寄せられた被災状況と対応状況を把握するとともに安否確認の内容等を取りまとめ、区災害対策本部へ報告します。

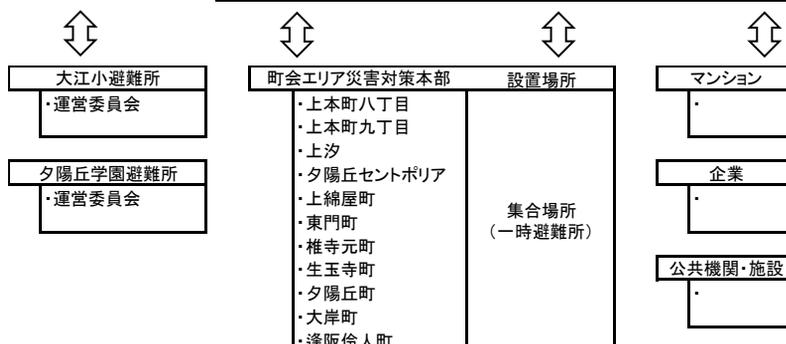
■ 組織構成

天王寺区役所 → 大阪市災害対策本部
↑ ↓

大江地域災害対策本部・組織一覧表

H28. 02

組織	役割	大江ふれあい協議会
災害統括部	災害統括 本部長	・大江ふれあい協議会 ・会長
	〃 副本部長	〃 ・副会長
	〃 副本部長	〃 ・各部会長
	〃 副本部長	〃 ・各町会長
情報救護部	情報救護 代表	大江地区災害救助 ・役員
	〃 副代表	大江女性防火クラブ ・役員
	情報班	大江地区災害救助 ・役員
	救護班	大江女性防火クラブ ・役員
災害対策部	要支援者班	大江地区民生委員協議会 ・役員
	災害対策 代表	大江地区青少年指導 ・役員
		大江地区社会福祉協議会 ・役員
	〃 副代表	大江地区青少年指導 ・役員
	施設運営班	大江地区青少年指導 ・役員
環境衛生班 (食糧物資)	大江地区青少年指導 ・役員	
	防犯対策班	防犯協会大江支部 ・役員



5. 町会エリア 災害対策本部の設置と活動

町会エリア災害対策本部の設置

- 町会エリア災害対策本部の役割にあたっている方(町会役員・災害救助青年部等)は、個人の避難準備をしたのち、指定された設置場所に参集し、町会エリア災害対策本部を設置します。
- 町会エリア災害対策本部では、
 - ①町会エリアの被災状況の把握
 - ②住民の安否確認(必要に応じて)
 - ③消火・救護活動、④応急手当を行います。
- 上記の情報を、地域災害対策本部へ報告します。



町会エリア災害対策本部
(イメージ)

町会エリアの集合場所

NO	町会(地域)名	一時避難場所(集合場所)
①	上八	上八公園
②	上九	五條宮西 交差点付近
③	上汐	吉祥寺
④	夕陽丘セントボリア	セントボリア ビロティホール
⑤	上綿屋町	大江小学校 北門前
⑥	東門町	上野製作所
⑦	椎寺元町	大江小学校 正門前
⑧	生玉寺町	清恩寺、宗念寺、吉祥寺
⑨	夕陽丘町	夕陽丘ちびっ子広場
⑩	大岸町	大岸公園
⑪	逢阪伶人町	逢阪公園

安否確認

- ① 隣近所や町会の班単位で協力し、安否確認
- ② 安否確認の結果を町会エリア災害対策本部に報告
- ③ 町会エリア災害対策本部の確認結果を集計し、町会長・副会長等に報告
- ④ 町会長・副会長等は安否確認ができていない家の安否確認を手分けして行うよう指示
 - ・安否確認は、事前に作成している「要支援者リスト」に掲載された避難行動要支援者から順に行います。
 - ・応急対応も考え、複数人で行動します。
 - ・不明者がいる場合は、可能な範囲で搜索します。
- ⑤ 明らかになった安否情報は、随時、町会エリア災害対策本部から、地域災害対策本部に報告



安否確認の様子(イメージ)

■ 町会エリアの集合場所マップ



■ 安心安全カード

「安心安全カード」にあなた自身の情報を記入しておく
と、「いざ」というとき、自身の身を守ることに役立ち
ます。また、地域での助け合いの輪を広げるときにも役
立つカードです。ぜひ、ご活用ください。

安心安全カード 記入日 <input type="text"/>		自分の住所、電話番号など	
なまえ 名前		〒543- 住所	
年齢	性別	血液型	
連絡先 (続柄)	なまえ	☎	()
連絡先 (続柄)	なまえ	☎	()
生年月日		年	月 日
生年月日		☎	()
近所のお友だち			
困ったときの連絡先		地震・風水害に備えて	
町会長	☎	連合	町会
民生委員	☎	一時避難場所	
区保健福祉センター	☎ 6774-9857	避難する学校	
地域包括支援センター	☎ 6774-3386	助けてくれる人	
高齢者☎相談	☎ 4392-8181	助けてもらうときのお願い	
警察 110	救急、火事 119	市救急安心センター #7119	
いざというときのメモ		体の具合・健康状態	
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		健康保険の番号	
		かかりつけの医者、病院	
		診療科	診療券番号
		病気、具合の悪いところ（透析など）	
		いつも飲んでいる薬	
地震・風水害に備えて		体の具合・健康状態	
避難経路		アレルギー、糖尿病、抗凝固剤の使用、喘息など	
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		手術歴	
		介護保険の番号	
		利用事業所名	☎ ()

6. わたしの町の自主防災組織

町会の組織	役割		担当(町会の役職)	
災害統括部	災害統括	本部長		
	"	副本部長		
	"	副本部長		
	"	副本部長		
情報救護部	情報救護	部長		
	"	副部長		
	情報班	情報班代表		
	安否確認 (要支援者)	1班		
		2班		
		3班		
4班				
5班				
6班				
7班				
8班				
9班				
10班				
他班				
救護班 (要支援者)	救護班代表 救護班副代表 救護班副代表			
災害対策部	災害対策	部長		
	"	副部長		
	施設運営班	施設運営班代表		
		" 副代表		
	環境衛生班 (食糧物資)	環境衛生班代表		
		" 副代表		
防犯対策班	防犯対策班代表			
	" 副代表			

7. 避難行動要支援者の支援

■ 避難行動要支援者とは…

- ◆移動が困難
- ◆精神的に著しく不安定な状態を来す
- ◆薬や医療装置が常に必要
- ◆日常生活で介助が必要
- ◆情報入手や発信が困難
- ◆急激な状況の変化に対応が困難
- ◆言語、文化、生活習慣への配慮が必要

■ 日ごろからの取組み…要支援者リスト・マップの作成



- 地域での日ごろからの見守り活動を基盤に、災害時、どのように安否確認や避難支援を行うか、事前に要支援者と支援者で話し合っておきます。
- 災害時に、迅速かつ確実に支援が行えるよう、「要支援者リスト」「要支援者マップ」を作成しておきます。
- 日ごろから、地域で搬送訓練などを実施します。

⇒日ごろの取組みの進め方については、

「避難行動要支援者支援の進め方」をご覧ください。

【参考1】避難するときは…

- 視覚障がいの方には、分かり易い口調で複数回繰り返し伝え、誘導は腕をつかんでもらい、ゆっくり歩く
- 聴覚障がいの方には、正面から口を大きく動かし、ゆっくりと伝える



- 肢体が不自由な方は、車椅子や担架、あるいは背負って早めに避難する。車椅子は階段では3人以上で援助し、後ろ向きに降りる

【参考2】要支援者の心がまえ

- 近隣の方と日ごろからコミュニケーションを図る
- 自分で出来ること、自分だけでは出来ないことを周囲に伝えておく
- 家具等を固定しておく
- 「非常持ち出し品」として、必要な薬や生活用品を準備しておく

【参考3】支援者は…

自身・家族等の安全確保を図った上で、支援を行う